

## 定住自立圏構想における基本問題検討ワーキンググループ（第3回）

### 要旨

#### 【開催日時等】

○開催日時：平成28年2月23日（火）16：15～17：45

○場 所：経済産業省別館104共用会議室

○出席者：辻座長、伊藤委員、梶井委員

原田地域力創造審議官、黒瀬地域自立応援課長、海老原市町村課長

#### 【主な意見】

- 定住自立圏というのは、住民がその圏域から出なくても、生活の全てがまかなえるというコンセプトのもの。要望団体がその役割を担うことができるかという現実的には難しいのではないか。
- 大型商業施設は、地価の安いところに出店することもある。また、既存の商圈を崩すことを狙って出店するため、中心性とは相容れない場合がある。さらに、商業施設は比較的短期間で移転することも考えられる。
- 病院ができると周辺の都市機能も充実してくるということが考えられる。病院に着目して特例を考えることはあり得るのではないか。
- 地方圏における中核的な病院といっても規模はさまざまである。そのため、実際にその病院が果たしている機能に着目すべきである。
- 昼夜間人口比率で考慮されているものは、通勤・通学者のみであるため、受療動向の流入超過分を加味するということは考えられるのではないか。
- 医療関係というのは、定住自立圏で果たす最大の機能であるため、受療動向を考慮するということはあり得るかもしれない。